

I 鳥取県の住みやすさについて

問1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。(〇は1つ)

～鳥取県に対しての愛着や誇りを感じている人が約7割～

鳥取県に対する愛着や誇りは、「感じている」が47.1%、「少し感じている」が24.7%と、愛着や誇りを感じている人が71.8%となっている。一方、「あまり感じていない」が3.8%、「感じていない」が1.9%で、愛着や誇りを感じていない人は、5.7%と1割に満たない。

平成28年度-令和4年度を比較してみると、「感じている」「少し感じている」の合計は28年度が約8割と最も割合が高く、29年度以降は約7割とほぼ横ばいで推移している。令和4年度は前年度より2.2ポイント減少している。

年代別でみると、愛着や誇りを「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、70歳以上が最も高く、20歳代が最も低くなっている。

性・年代別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、男女ともに70歳以上が最も高くなっており、女性では年代が上がるにつれ割合が高くなっている。

地域別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べて高くなっている。

図1 鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか(n=1,760)

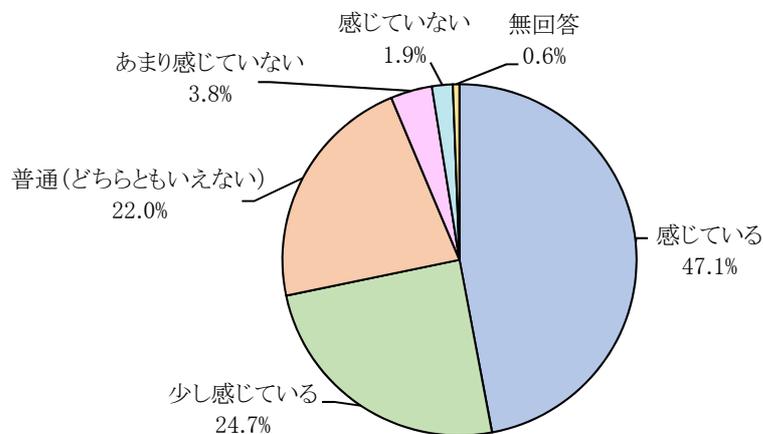
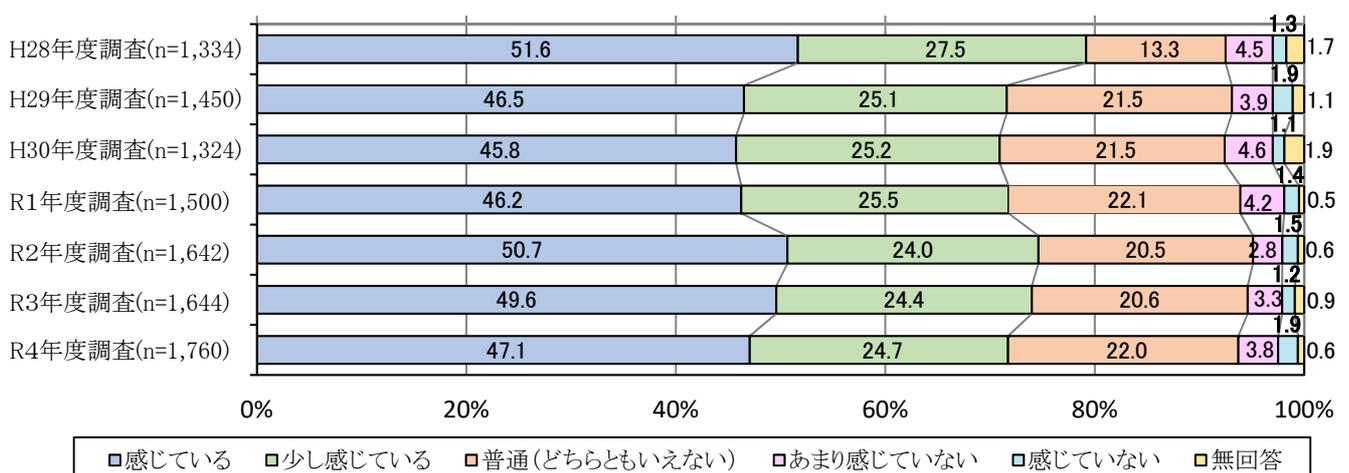


図2 鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか(年次比較)



問2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください。(○は1つ)

～「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせると約6割の人が住みやすいと回答～

今暮らしている地域の住みやすさは、「とても住みやすい」が19.0%、「どちらかという住みやすい」が44.5%で、住みやすいと答えている人が合わせて63.5%となっている。

一方、「どちらかという住みにくい」が6.6%、「住みにくい」が2.3%で、住みにくいと答えている人は合わせて8.9%となっている。

平成28年度-令和4年度を比較してみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」の合計は、28年度の74.9%が最も割合が高く、29年度以降は減少傾向にあった。2年度は前年度より9.4ポイントの増加となったが、3年度以降は減少している。

年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、30歳代が最も高く、20歳代が最も低くなっている。

性・年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、男性・女性共に30歳代と70歳代以上が高くなっている。

地域別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べ高くなっている。

図4 今暮らしている地域の住みやすさ(n=1,760)

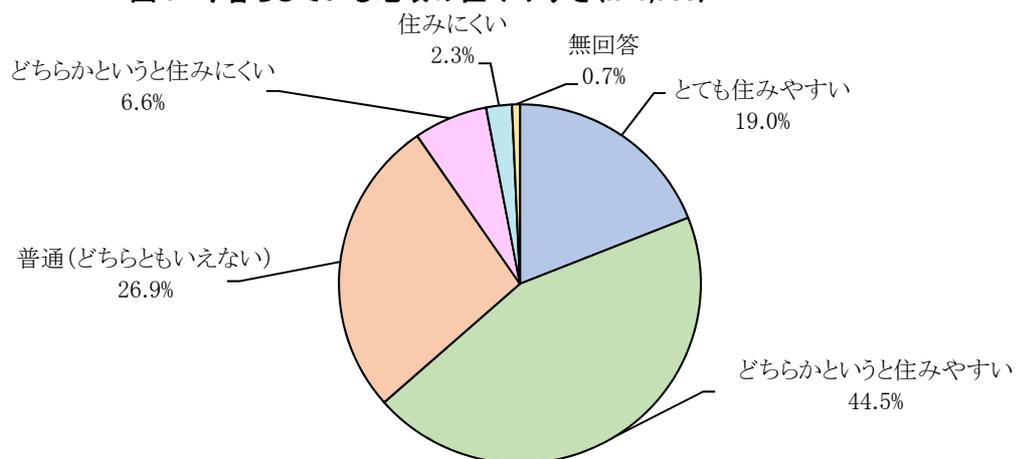


図5 今暮らしている地域の住みやすさ(年次比較)

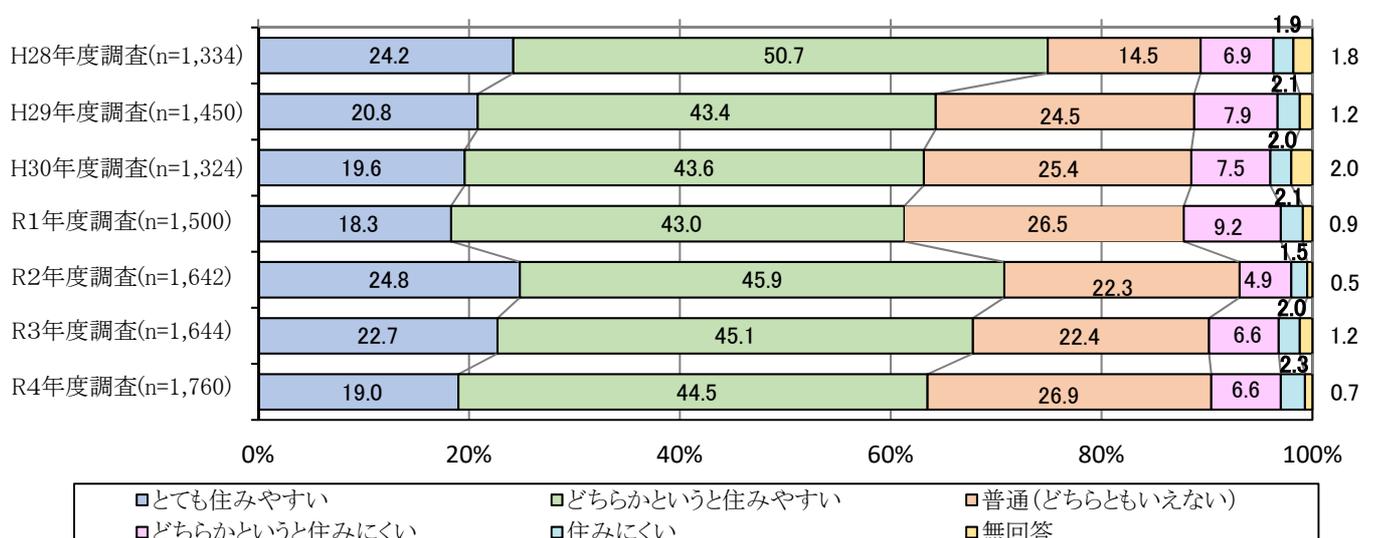
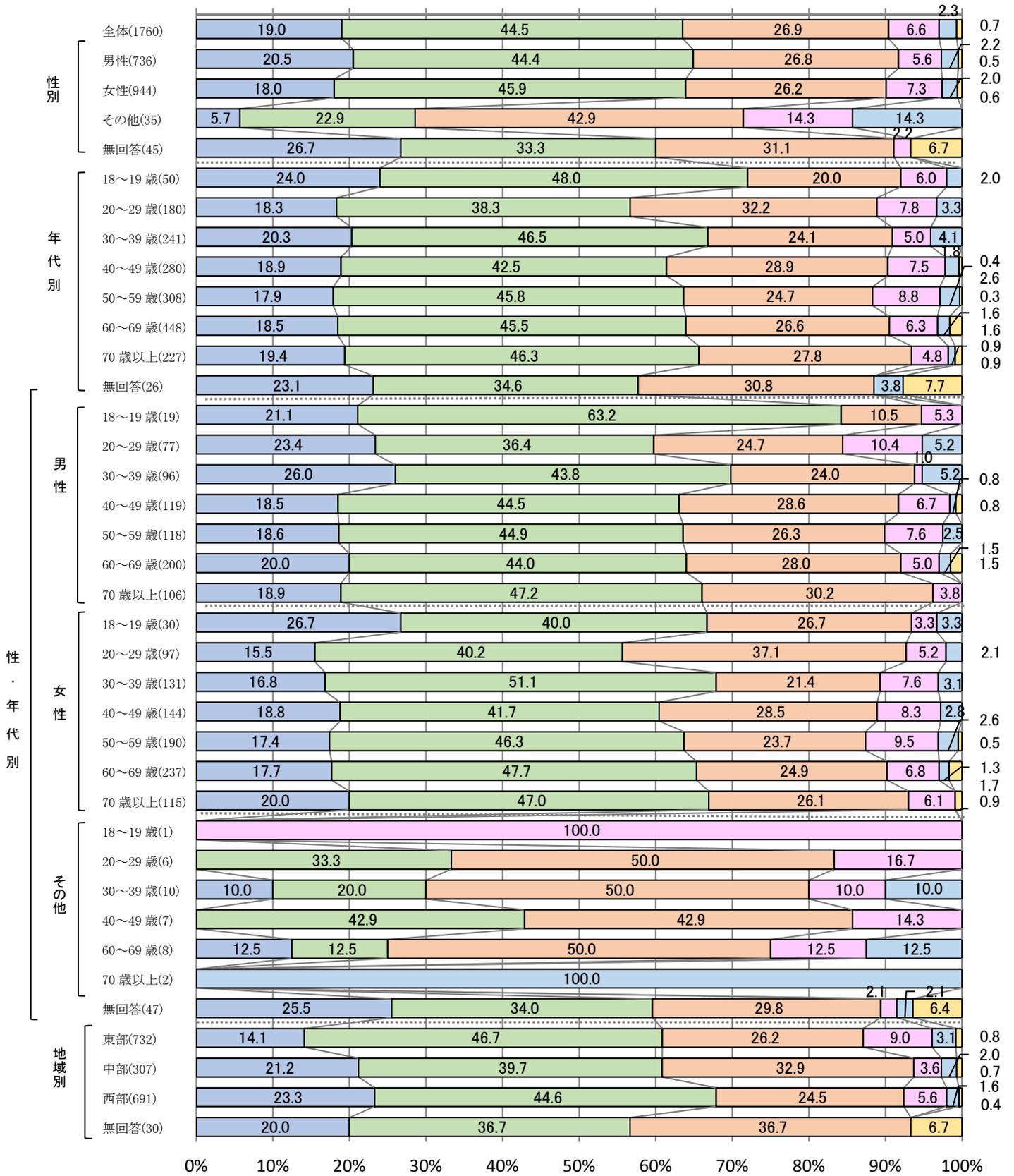


図6 今暮らしている地域の住みやすさ(性別・年代別・地域別)



とても住みやすい どちらかという住みやすい 普通(どちらともいえない)
 どちらかという住みにくい 住みにくい 無回答

**問3 鳥取県に暮らしていて、次の項目(設問)についてどう思われますか。
項目ごとにいずれかに○を記入してください。**

～「豊かな自然環境に恵まれている」と思う人が約9割～

鳥取県に暮らしていてよく感じる(そう思う)項目は、上位項目では「豊かな自然環境に恵まれている」が90.9%と最も割合が高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が65.3%、「住んでいる住民(県民)が親切である」が54.4%、「地域での人と人とのつながりがある」が49.6%と続き、自然環境、治安、人とのつながりを鳥取県に暮らす良い面として答えている。

一方、鳥取県に暮らしていて良いと感じない(そう思わない)項目は、上位項目では「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」が60.1%で最も割合が高く、次いで「地域の防災組織が整っている」が16.6%、「ストレスなく日常生活を送ることができる」が16.4%と続いている。

平成28年度-令和4年度を比較してみると、「豊かな自然環境に恵まれている」は、よく感じる(そう思う)との回答が全ての年度で約9割、「住んでいる住民(県民)が親切である」は概ね5割台、「地域の治安が良いと感じている」は全ての年度で6割台となっている。

一方、「子育て支援が充実している」「ストレスなく日常生活を送ることができる」について、令和4年度はよく感じる(そう思う)は前年度に比べ、5ポイント以上減少している。また、「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」は1割台で推移していたが、4年度は1割に達していない。

図7 鳥取県の暮らしについて(n=1,760)

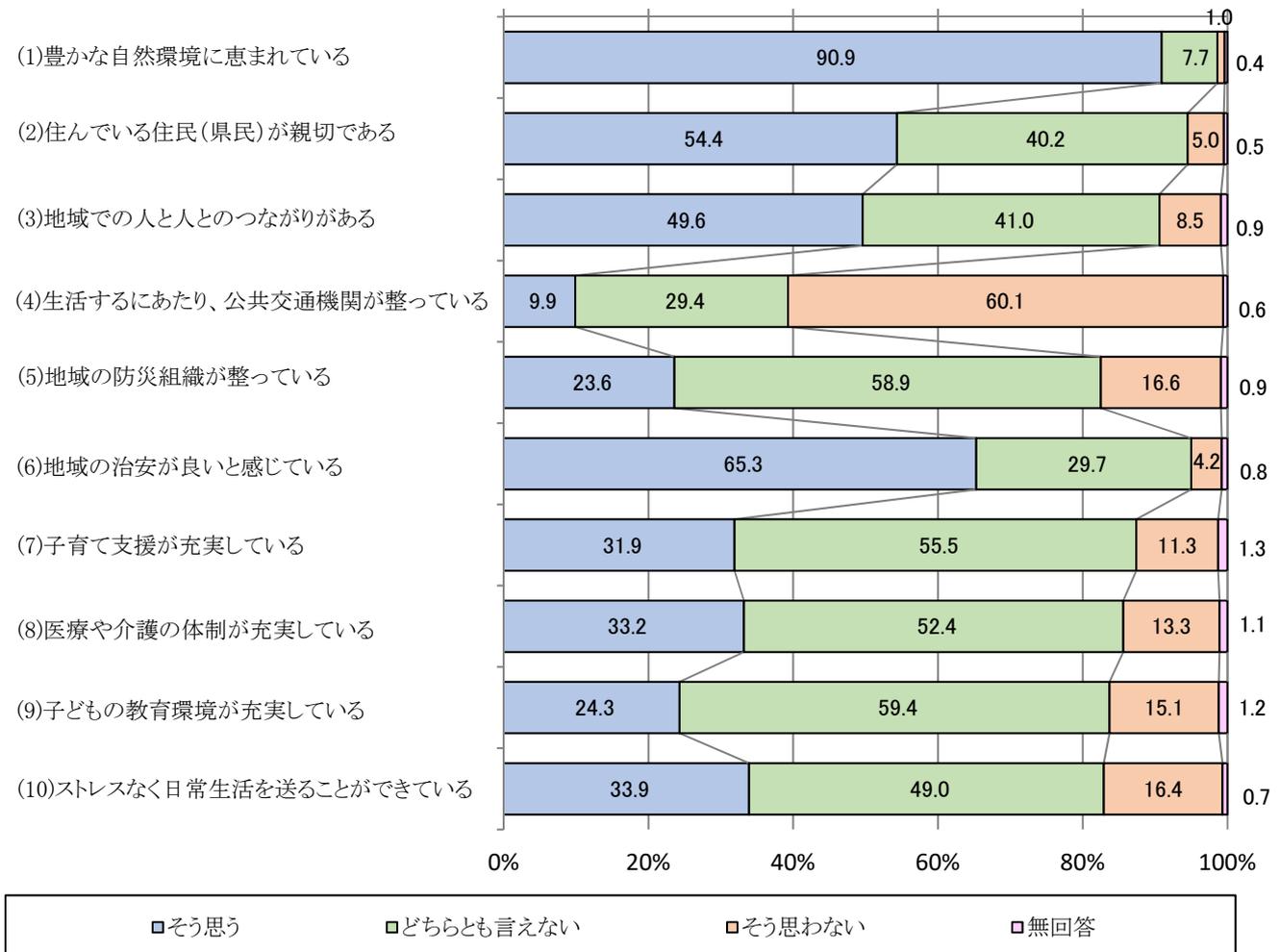
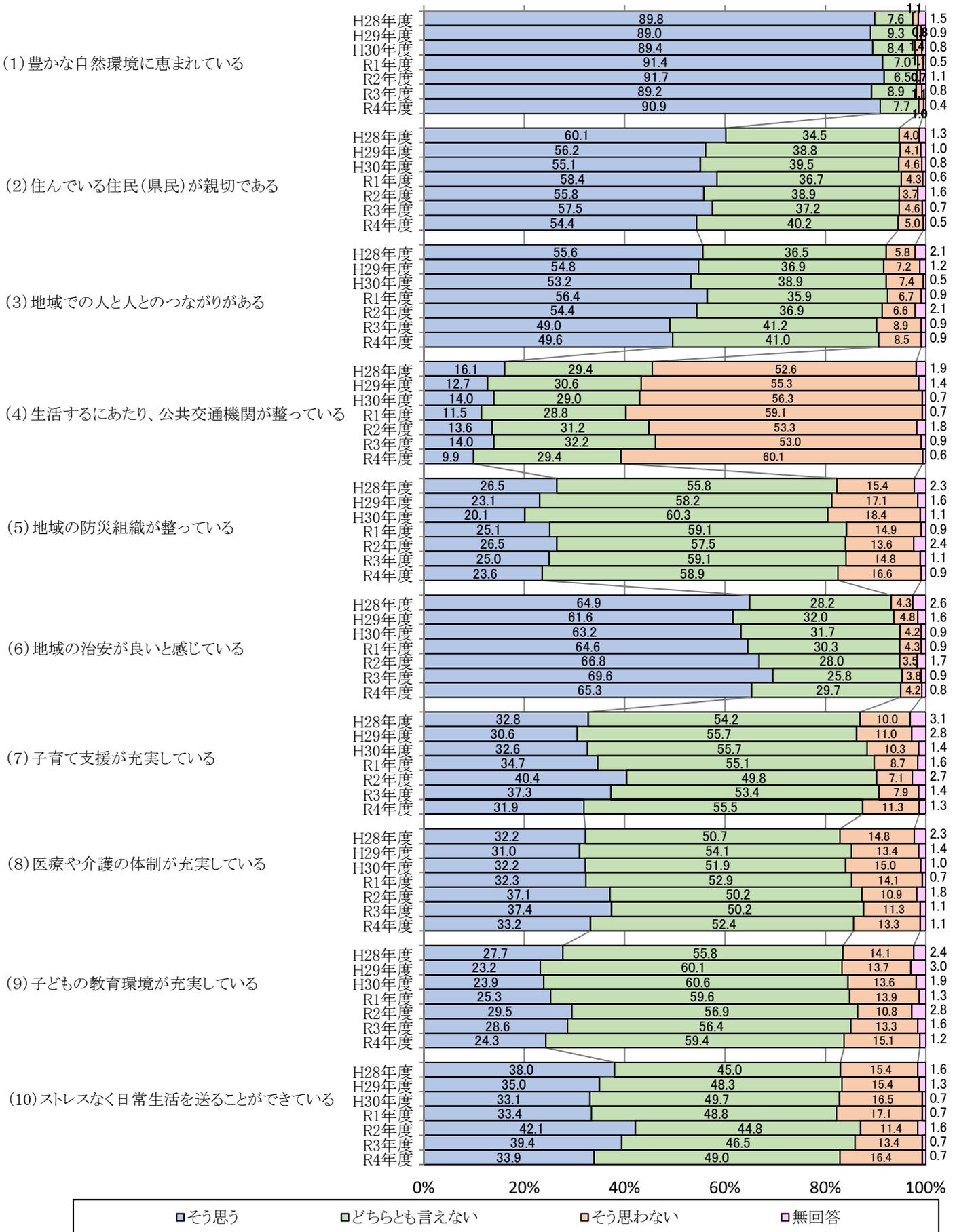


図8 鳥取県の暮らしについて(年次比較)



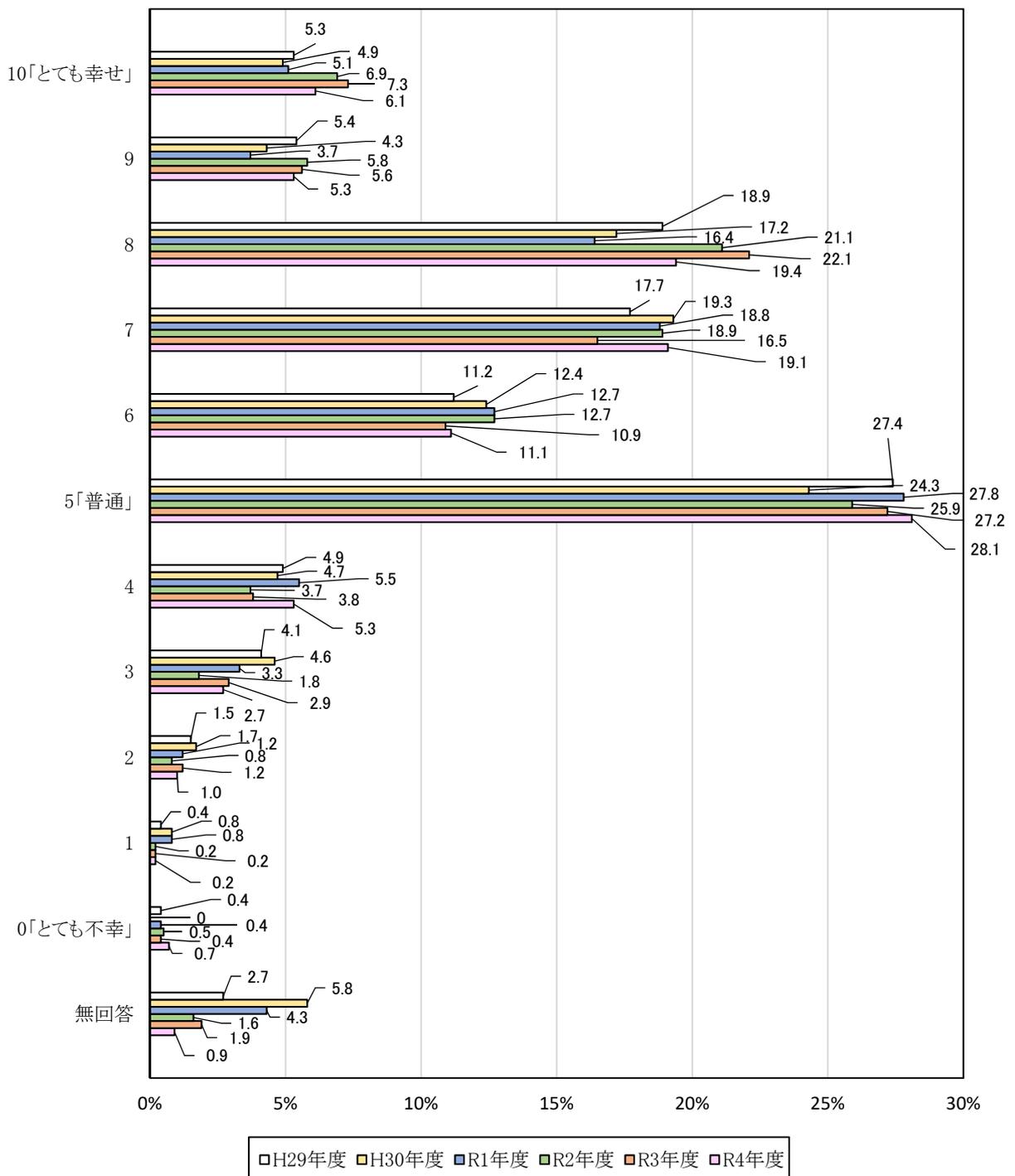
問4 鳥取県に暮らしていて、あなたは今の程度「幸せ」ですか。

～5点「普通」から10点「とても幸せ」が約9割～

幸福度について10点満点で質問したところ、5点「普通」が28.1%と最も割合が高く、8点が19.4%、7点が19.1%、6点が11.1%と続き、5点「普通」以上と回答した割合は89.1%となっている。

性・年代別でみると、幸福度5点「普通」は男性、女性共に70歳以上で高くなっている。

図9 鳥取県に暮らしていて、「幸せ」ですか(年次比較)



問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(〇はいくつでも)

～「家計の状況」「自身の健康の状況」「家族関係」を重視～

幸福度を判断するときに重視することは、「家計の状況」が69.2%と最も割合が高く、次いで「自身の健康の状況」が67.4%、「家族関係」が59.0%となっている。

平成29年度-令和4年度を比較してみると、上位3項目は常に「自身の健康の状況」、「家計の状況」、「家族関係」となっている。また、4年度は前年度より「自由な時間(充実した余暇)」、「趣味などのいきがい」、「友人関係」が特に増加している。

年代別でみると、「家計の状況」は30～60歳代、「自身の健康の状況」は60歳代以上、「家族関係」は30～40歳代で高くなっている。

また、「精神的なゆとり」、「自由な時間(充実した余暇)」とも20～30歳代で高くなっている。

図11 「幸福度」の判断で重視すること(年次比較)

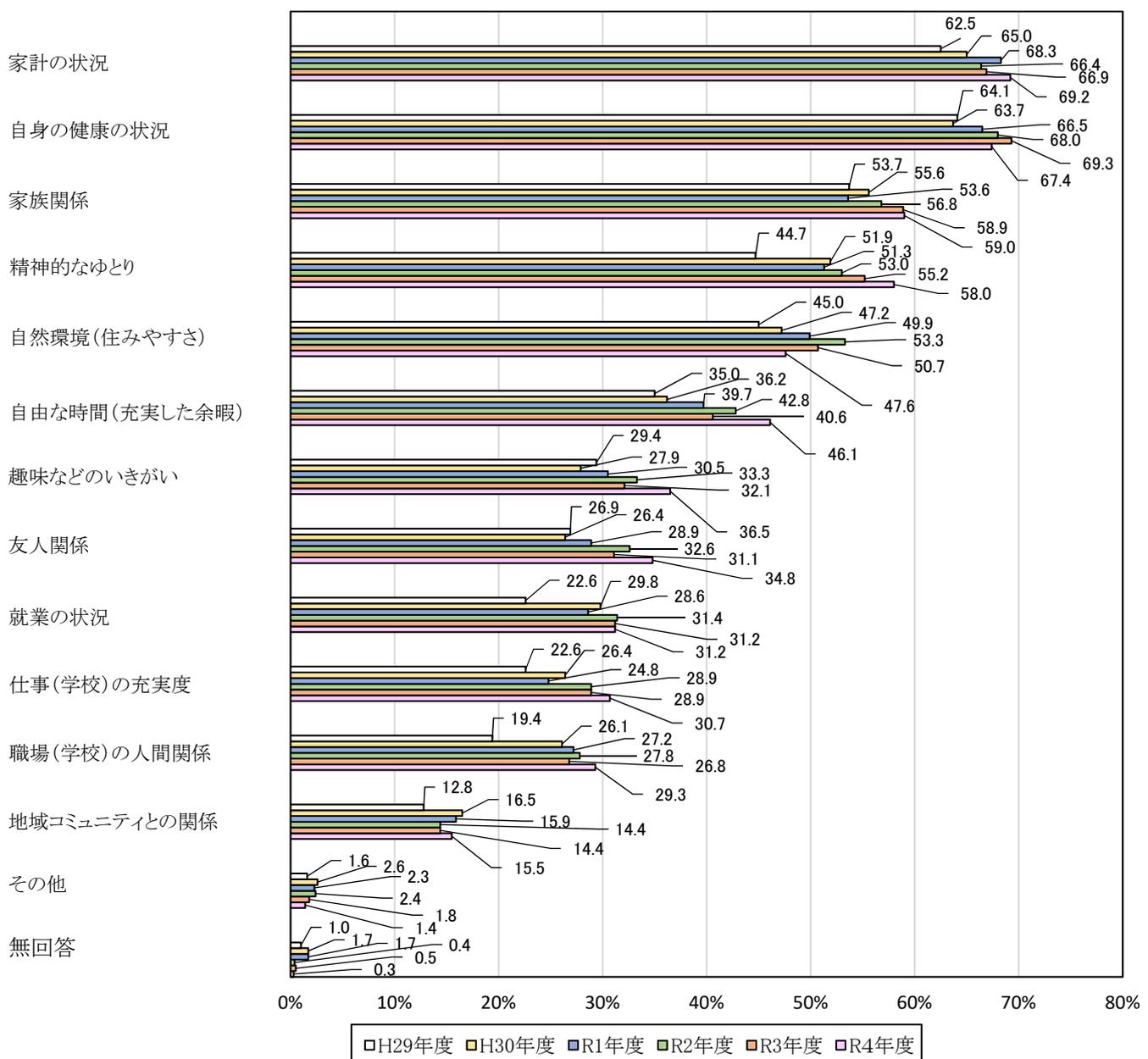


図 12 「幸福度」の判断で重視すること(性別・年代別・地域別)

【上位1】【上位2】【上位3】

